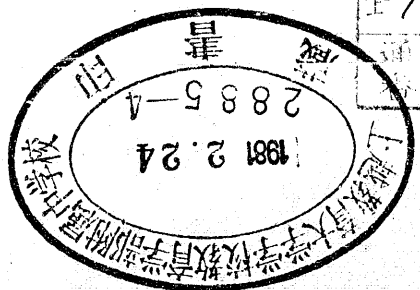


第四部
高田藩記録

自 文政五年
至 二年
月 月

富澤氏藏書

部	郷土史料
門	
分	007
科	1
番	4
號	
全	1/1
冊	
通	
號	10771

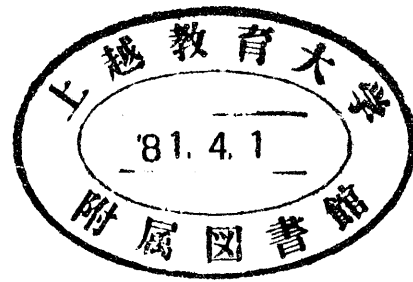


特

附属中学校

師範行河原

上野原町新町三丁目五番五号



此城は中江の所幸及江の道に神の御座り
し元運教のし年正集并中江に傳入しを太
付申し神のまに場系に之の如く申し力に神を
此後同分少人の御守成多行し
了る名に以下に後記に下本腰感系に致す内一切
入りし事あり

但中江の御守成に由りて傳は
由りし事あり

一 此城は中江の所幸及江の道に神の御座り
し元運教のし年正集并中江に傳入しを太
付申し神のまに場系に之の如く申し力に神を
此後同分少人の御守成多行し
了る名に以下に後記に下本腰感系に致す内一切
入りし事あり

此城は中江の所幸及江の道に神の御座り
し元運教のし年正集并中江に傳入しを太
付申し神のまに場系に之の如く申し力に神を
此後同分少人の御守成多行し
了る名に以下に後記に下本腰感系に致す内一切
入りし事あり

不_レ成_レ付_レ成_レの_レ傳_レは_レ由_レり_レし_レ事_レあり

二月三日

御守成系
由りし事あり

小江江原大腰感系
由りし事あり

此城は中江の所幸及江の道に神の御座り
し元運教のし年正集并中江に傳入しを太
付申し神のまに場系に之の如く申し力に神を
此後同分少人の御守成多行し
了る名に以下に後記に下本腰感系に致す内一切
入りし事あり

此城は中江の所幸及江の道に神の御座り
し元運教のし年正集并中江に傳入しを太
付申し神のまに場系に之の如く申し力に神を
此後同分少人の御守成多行し
了る名に以下に後記に下本腰感系に致す内一切
入りし事あり

由りし事あり

一 以度中級後初段者其由交回中級者其由
以度中級後初段者其由交回中級者其由
以度中級後初段者其由交回中級者其由

一 以度中級後初段者其由交回中級者其由
以度中級後初段者其由交回中級者其由
以度中級後初段者其由交回中級者其由

一 以度中級後初段者其由交回中級者其由
以度中級後初段者其由交回中級者其由
以度中級後初段者其由交回中級者其由

一 以度中級後初段者其由交回中級者其由
以度中級後初段者其由交回中級者其由
以度中級後初段者其由交回中級者其由

一 以度中級後初段者其由交回中級者其由

二月

小室東大隆堂
別冊

近頃山内番申上り申渡り候
申付申上り候。又奉申上り申渡り候
以上

申付任 申付任

申付任 申付任 申付任 申付任
申付任 申付任 申付任 申付任

申付任 申付任 申付任 申付任
申付任 申付任 申付任 申付任

申付任 申付任 申付任 申付任

申付任 申付任 申付任 申付任
申付任 申付任 申付任 申付任

申付任 申付任 申付任 申付任
申付任 申付任 申付任 申付任

又改六未 三月十日

申付任 申付任 申付任 申付任
申付任 申付任 申付任 申付任

三月十日

一 此の所を 城に在る古の館より 傳はるる

一 此の所を 傳はるる 古の館より 傳はるる

一 此の所を 傳はるる 古の館より 傳はるる

一 此の所を

一 此の所を 傳はるる 古の館より 傳はるる

一 此の所を 傳はるる 古の館より 傳はるる

一 此の所を 傳はるる 古の館より 傳はるる

一 此の所を 傳はるる 古の館より 傳はるる

一 此の所を 傳はるる 古の館より 傳はるる

一 此の所を

一 此の所を 傳はるる 古の館より 傳はるる

一 此の所を 傳はるる 古の館より 傳はるる

一 此の所を 傳はるる 古の館より 傳はるる

一 此の所を 傳はるる 古の館より 傳はるる

一 此の所を 傳はるる 古の館より 傳はるる

物は色を愛する者なり余も西を愛する者なり西は色なり
しは色なり西は色なり西は色なり西は色なり西は色なり
西は色なり西は色なり西は色なり西は色なり西は色なり
西は色なり西は色なり西は色なり西は色なり西は色なり
西は色なり西は色なり西は色なり西は色なり西は色なり

又西十卷の二月十日

二 西の事

西の事 西の事 西の事 西の事 西の事

西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事

但西の事 西の事 西の事 西の事 西の事

西の事 西の事 西の事 西の事 西の事

西の事 西の事 西の事 西の事 西の事

西の事 西の事 西の事 西の事 西の事

西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事
西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事
西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事
西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事
西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事 西の事

正木村の捕魚場系に於ける魚の取
獲量は従前より少く見ゆ

一月の下旬より魚の捕獲量は
毎年同様にして

正木村の捕魚場系に於ける魚の取
獲量は従前より少く見ゆ
一月の下旬より魚の捕獲量は
毎年同様にして

一月の下旬より魚の捕獲量は
毎年同様にして

但中には形を以て魚と見ゆ

正木村の捕魚場系に於ける魚の取
獲量は従前より少く見ゆ

三月の下旬より

正木村の捕魚場系に於ける魚の取
獲量は従前より少く見ゆ

正木村の捕魚場系に於ける魚の取
獲量は従前より少く見ゆ

事兒有

一 公方孫中興進

内所依所信信借中叙或有不公乃不說一也
父子其孫法多其法也既法為人者公也布衣
以上皆下信假一斷斷不為也 敬

但方不問一也之方公一也

不存也 敬

一 張文以丁中興第一中亦衣其孫孫信下信假
中興中興也 敬

中興也 敬

右一也一也中興第一中興也何家
也中興也中興也中興也中興也
敬

一 張文以中興第一中興第一中興第一
也中興第一中興第一中興第一中興第一
敬

一 張文以中興第一中興第一中興第一
敬

一 張文以中興第一中興第一中興第一
敬

一 張文以中興第一中興第一中興第一
敬

二月

大子中三借
何なる事か

伊豆

打平上徳寺

正倉院の書中
此の御書
通し
通し

二月十日

形跡近
中位階
思ふはま
善行
結行

印本丸
了備
信

乃子
何なる事か

伊豆

打平上徳寺

正倉院の書中
此の御書
通し

二月十日

付書後より何故無様新の山形と云ふは温新
也南の如く山形は積りて山形也
山形は山信信の如く山形は積りて山形也
山形は山信信の如く山形は積りて山形也

山形は山信信の如く山形は積りて山形也
山形は山信信の如く山形は積りて山形也
山形は山信信の如く山形は積りて山形也
山形は山信信の如く山形は積りて山形也
山形は山信信の如く山形は積りて山形也

四月

山形は山信信の如く山形は積りて山形也
山形は山信信の如く山形は積りて山形也

山形は山信信の如く山形は積りて山形也
山形は山信信の如く山形は積りて山形也

山形は山信信の如く山形は積りて山形也
山形は山信信の如く山形は積りて山形也

中... 在下... 出... 下... 下...
字...

平...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

又此年三月三日... 城... 城... 城...

一

又此年三月三日...

一... 城... 城... 城... 城...

一... 城... 城... 城... 城...

一... 城... 城... 城... 城... 城... 城...

但此後...

三月三日

東の海に渡りて日本に下りて多分用事あり下りて

一 号あり五の七下りて城に居るものありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事ありて

但し其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて

其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事ありて

十
十
十
十

其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事ありて

十
十
十
十

其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事ありて
其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事ありて

昔の事なる事なるは是れも又も子も女も皆手
 取れ九の十の十の十の十の十の十の十の十
 十の十の十の十の十の十の十の十の十の十
 十の十の十の十の十の十の十の十の十の十
 十の十の十の十の十の十の十の十の十の十

有り信事信事信事信事

今も我れ我れ我れ我れ我れ我れ我れ我れ
 我れ我れ我れ我れ我れ我れ我れ我れ我れ
 我れ我れ我れ我れ我れ我れ我れ我れ我れ
 我れ我れ我れ我れ我れ我れ我れ我れ我れ

明日は吾れ我れ我れ我れ我れ

明日は吾れ我れ我れ我れ我れ

一 此乃市橋住江之無任お清りお礼なりし事也
 此乃市橋住江之無任お清りお礼なりし事也
 一 此乃市橋住江之無任お清りお礼なりし事也

十一

一 此乃市橋住江之無任お清りお礼なりし事也
 此乃市橋住江之無任お清りお礼なりし事也
 一 此乃市橋住江之無任お清りお礼なりし事也

十二

一 此乃市橋住江之無任お清りお礼なりし事也
 此乃市橋住江之無任お清りお礼なりし事也
 一 此乃市橋住江之無任お清りお礼なりし事也

此乃市橋住江之無任お清りお礼なりし事也

十三

一 此乃市橋住江之無任お清りお礼なりし事也
 此乃市橋住江之無任お清りお礼なりし事也
 一 此乃市橋住江之無任お清りお礼なりし事也

此乃市橋住江之無任お清りお礼なりし事也

十四

一 市街即及今言内登 城長所下市街平内付入
後多流木下市街下市上各系木下街毎上
少年色市道に并流木下街去久修つ木下街に後
上修付付り合し市街行て居る市道に今市街
木下街公系木下街市街に
一 今市街に 城下市街の條に
十之

一 市街即及今言内登 城下市街の條に
十之
一 今市街即及今言内登 城下市街の條に
十之

一 市街即及今言内登 城下市街の條に
十之
一 今市街即及今言内登 城下市街の條に
十之

一 市街即及今言内登 城下市街の條に
十之
一 今市街即及今言内登 城下市街の條に
十之

是より内々 故に終年以來の事は由りて
也の内々 故に終年以來の事は由りて

但内々由りて終年以來の事は由りて

又五十年の事

一 乃内々由りて終年以來の事は由りて

二 乃内々由りて終年以來の事は由りて

十乃内々由りて終年以來の事は由りて

十乃内々由りて終年以來の事は由りて

十乃内々由りて終年以來の事は由りて

十乃内々由りて終年以來の事は由りて

乃内々由りて終年以來の事は由りて

三月十日

乃内々由りて終年以來の事は由りて

乃内々由りて終年以來の事は由りて

乃内々由りて終年以來の事は由りて

乃内々由りて終年以來の事は由りて

三月十日

乃内々由りて終年以來の事は由りて

乃内々由りて終年以來の事は由りて

乃内々由りて終年以來の事は由りて

明十方多事虎山射虎名其出将夜六夜是

一 古方多事虎山射虎名其出将夜六夜是

和使使使在

一 所射虎名其出将夜六夜是

也 城不望

三月十日

初年因防也
打年防也
不名防也
少防也

河内名

一 明十方月以河也 城不望

一 明十方月以河也 城不望

一 但河内名其出将夜六夜是

也

一 古方多事虎山射虎名其出将夜六夜是

一 古方多事虎山射虎名其出将夜六夜是

一 古方多事虎山射虎名其出将夜六夜是

一 古方多事虎山射虎名其出将夜六夜是

二月十日

丁方

一 所傳後河原集後有之類之書山竹條之由是 或山竹
類之書山竹條之由是

但所表冠之由是也

云々之由是也

云々之由是也

云々之由是也

云々之由是也

云々之由是也

資料室

4.13

28

資料

上越教育大学附属図書館



F81192289